

序 文

経済学部長 鈴木 明男

敬愛大学は昭和41年に長戸路政司先生により創立され、本年度40周年を迎える。創立時は千葉敬愛経済大学と称し経済学科だけの単科大学であったが、以後時代の要請に応じて順調に学生数を増やしてきた。さらに、飛躍的な発展を願って名称を敬愛大学に改ため、国際学部国際協力学科を擁するに至った。しかし、あまりにも急速な少子化の進展に伴い、本学も他大学同様その運営に戸惑っているのが現状である。

それでもなお、40年間には幾多の先人達の努力の結果として、研究教育分野への活動分野が広がり、顕著な業績を残してきている。本研究論集の発行母体となる経済文化研究所および経済学会の活動に限っても、研究分野では経済文化研究所紀要は11号、叢書8号敬愛大学研究論集は70号を数え、教員による研究発表会が社会人も交えて行なわれている。教育分野では学生論文集、高校生論文コンテスト、さらに、社会貢献分野では社会人対象の講演会やシンポジウムと広範囲に及び、今なお社会貢献センターの設置を検討している。

大学冬の時代が到来している。それでもなお敬愛大学は存立と発展を模索し続けており、現在稲毛キャンパスに8階建ての新校舎を建設したうえ、国際学部を佐倉キャンパスから移転して経済学部・国際学部2学部体制で、社会貢献を含め様々な分野で規模

のメリットを活かす計画が着々と進められている。また国際学部では学科を国際学科に改組し地域子供教育専攻の新設を申請している。これらの事業を成功させ大学を盤石ならしめるためには関係者挙げての努力が求められる。

この記念号は、まさに大学のエポックメイキングな時期に刊行される。本号が末永い繁栄の礎とならんことを心から願っている。